

あおり藍 サージカルマスク

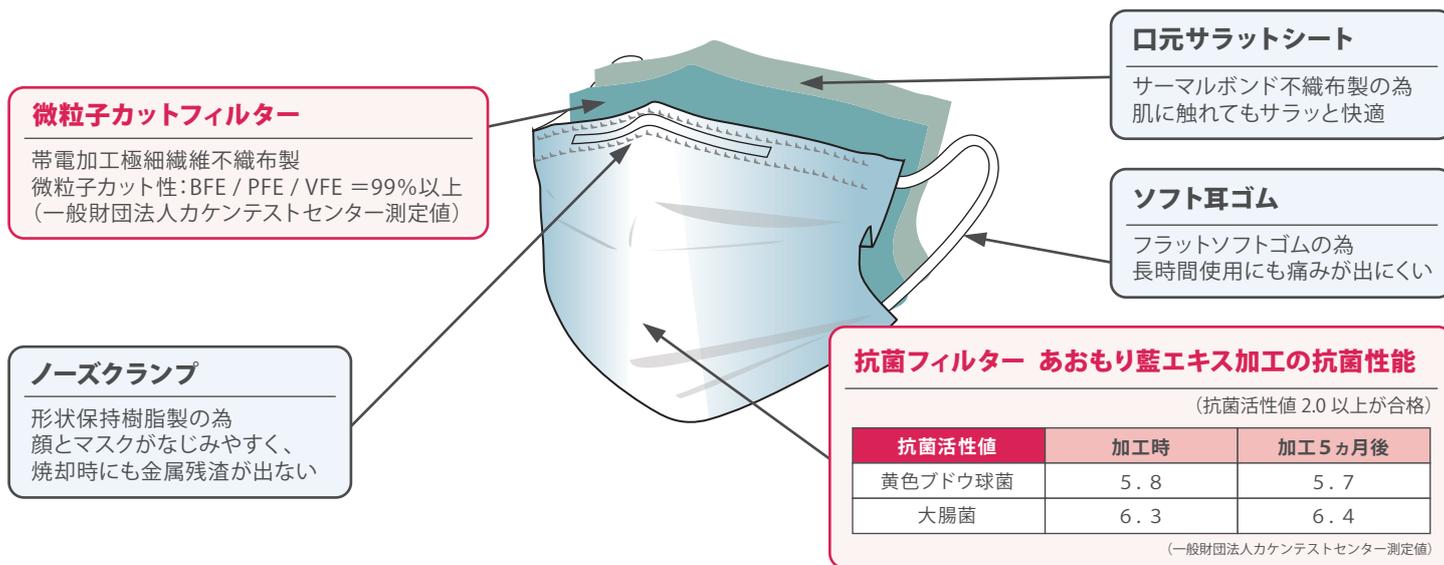
(ASTM-F2100-11:レベル3)
医療用マスクの米国標準規格に適合

あおり藍サージカルマスクは、天然の抗菌剤「あおり藍エキス」を塗布した抗菌フィルター層を最外層に微粒子カットフィルターを内層に配置した2重機能フィルタータイプの3層構造の高性能なマスクです。

マスクの性能	●BFE:99%以上 ●PFE:99%以上 ●VFE:99%以上	●呼吸抵抗: $\Delta P(\text{mmH}_2\text{O}/\text{cm}^2) < 4.0$ ●血液不透過性: 160mmHg ●ASTM-F 2100-11 :レベル3
--------	--	--

細菌微粒子 **99%**
カットフィルター使用

あおり藍サージカルマスクの構造



あおり藍にインフル阻害効果

(2020年1月9日「朝日新聞」記事より抜粋)

弘前大と東北医科薬科大(仙台市)などの研究グループは8日、青森県内で栽培される「あおり藍」のエキスにインフルエンザウイルスの感染を阻む効果を確認したとの研究成果を発表した。エキスを含む布を使ったマスクやスプレーなど、青森発の素材を活用し、感染を防ぐ新たな予防製品の開発につながると期待される。弘前大や藍染め製品の製造、開発を手がける「あおり藍産業協同組合」は昨年11月、あおり藍を使ったインフルエンザウイルスの阻害剤について特許を出願した。

研究グループによると、A型のインフルエンザウイルスに県内で栽培された藍の葉から抽出したエキスを混ぜて1時間たった液体を、ウイルスの増殖実験に使われるイヌの培養細胞にふりかけた。ウイルスだけを細胞と培地にふりかけた場合は1ミリリットルあたり6千個、細胞と10%のエタノールを含む培地に振りかけると千個の細胞が感染したが、エキスとウイルスの混合液では感染した細胞が見つからなかったという。

天然由来成分で抗菌加工したサージカルマスクとして世界初の製品

「あおり藍エキス」とは、農薬不使用で育てたあおり藍の葉を乾燥・粉末化した後、天然抽出液を用いて薬効成分を抽出したエキスです。「あおり藍エキス」には、黄色ブドウ球菌、大腸菌などの細菌だけでなく、インフルエンザA型ウイルスに対しても高い抗菌性があります。

(弘前大学、東北医科薬科大学等 共同特許出願)

商品名	商品 No	色相	サイズ (mm)	入り数 (個箱 × 段ボール箱)
あおり藍サージカルマスク	AOML-DP	濃青色	90×170	50枚×20箱
あおり藍サージカルマスク	AOML-LT	青色	90×170	50枚×20箱

※マスクは感染(侵入)を完全に防ぐものではありません。

日本製

■代理店

■販売元

大阪市北区大深町3番1号
グランフロント大阪タワーB 12階
日精株式会社
<http://www.nissei-net.co.jp>
Tel 06-5485-3775

■企画元

青森県青森市本町5丁目6-16
あおり藍産業協同組合
<http://aomoriai.com/>